

まちの話題

話題・情報は企画課へ
お寄せください。



おめでとぅございます 百歳を迎えられました

町では、満百歳を迎えられた方をお祝いする長寿表彰を行っています。このたび、8月5日に倉見 康子さん(三浦)が満百歳を迎えられ、町長から寿詞などが贈呈されました。これからもお元気にお過ごしください。



満百歳を迎えられた
倉見康子さん

7年ぶりに 八東駅まつりを開催

8月10日、八東駅で7年ぶりとなる「八東駅まつり」が開催されました。「はつとつの日」に合わせて開催されたもので、八東駅を元気にする会などが中心となつて企画。夕涼みを楽しもうと、地域の皆さんが集まりました。地元有志による芸能披露では、八東平成太鼓の力強い演奏で幕を開け、



賑わいをみせる八東駅まつり

しゃんしゃん傘踊り検定1級の腕前を持つ小学生による傘踊りや、SUIYOU会の息の合った踊り、マープルトラバリングアコースティックバンドの演奏など、地域の皆さんが会場を盛り上げました。会場には焼きそばやフランクフルトなどの屋台も並び、家族や友人、地域の皆さんが食事を囲みながら会話をを楽しむなど、久しぶりの駅まつりはにぎやかな交流の場となりました。

京都大学財政学研究会が 八頭町で夏合宿

8月25日から26日にかけて、京都大学財政学研究会の夏合宿が鳥取県で開催されました。



活発に意見交換をする参加者

この夏合宿は毎年開催されており、今回は、八頭町と京都の二拠点で生活する横山椋大さん(京都大学大学院経済学研究科)が「社会資本と住民自治」をテーマに企画。参加者は、町の農業・交通・地域振興などの取組について、現地視察などを通して学びました。役場本庁舎で行われた意見交換会では、矢部町長や地域活動に取り組む住民らと、公共交通のあり方や地域振興策について意見を交わしました。参加者からは、「京都でも廃校施設の利活用が課題となる中、八頭町の事例を学べてよかった」「研究室では分からないことをたくさん知ることができ、勉強になった」といった感想が聞かれました。

ふるさと納税戦略会議 「ふるS^{サット}」始動

ふるさと納税を地域経済の活性化につなげようと、八頭町ふるさと納税戦略会議「ふるS^{サット}」が始動し、8月27日、関係者が集まって意見交換を行いました。

「ふるS^{サット}」は、特殊部隊を表す「S^{サット}」と「さとと動く」を掛け合わせた名称。ふるさと納税の運営サポートを手がける株式会社ローカル（本社・熊本県）や八頭町観光協会などが参加し、寄付額の増加や町の魅力発信に向け、返礼品や受付サイトの磨き上げなど、今後の戦略について議論しました。

具体的な返礼品のアイデアとして、フルーツ定期便で多様な品種の柿や梨をPRする案、一日町長体験など体験型返礼品を開発する案などが出されました。

自主財源の確保と町の魅力発信を目指し、昨年度を大きく上回る寄付額の獲得に向け、今後も取組を進めていきます。



さまざまなアイデアを出し合う関係者

地域で備える 防災訓練

毎年9月1日の「八頭町防災の日」に合わせて実施している防災訓練が、8月30日、町内各集落で行われました。モデル地区となった大江集落では、区長や役員、自警団が役割を分担し、集落対策本部の立ち上げや要配慮者の避難誘導を実践。住民が安全に避難できる体制を確認しました。

訓練終了後には、自警団を対象に土のうの積み方の講習や、鳥取県八頭県土整備事務所職員を講師に招いた防災学習会も行われ、命と暮らしを守るための知識を学びました。

大江集落の田中区長は、「まずは身の安全を守るために避難することが大事。今回のように訓練を重ねることとで防災意識を高めるとともに、防災力の強化を図っていききたい」と話していました。



区長さんをはじめ自警団など地域住民が結束して訓練を実施



麒麟のまち
Kirinnomachi

麒麟のまち インフォメーション

第47回 八頭町

つながれ、うさの「輪」。
ひろがれ、うさの「和」。



八頭町には、天照大神の道しるべとなった白兔伝説が伝わっています。そんな白兔伝説ゆかりの地で、うさぎを愛する人が集まる年に一度のおまつり「うさのわ」が開催されます。

4回目となる今年は、初の日曜日開催！

うさぎにまつわるグルメやグッズの販売をはじめ、うさぎ相談会などのトークショー、豪華景品が当たる「うさのわ大抽選会」など、楽しい企画が盛りだくさんです。

うさぎ好きはもちろん、どなたでも楽しめるイベントです。ぜひお越しください！

【日 時】 11月8日(日) (小雨決行・荒天中止)

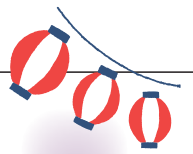
【場 所】 船岡竹林公園

【問い合わせ】 八頭町観光協会 ☎ 0858-72-6007



▲うさのわ
公式アカウント





五千五百人 熱狂 八頭 夏 彩

祭



8月22日、郡家運動場を会場に「第20回八頭町きらめき祭」が開催され、約5,500人が来場しました。

開会行事では、矢部町長の「今日は楽しみましょう」という呼びかけで祭りがスタート。司会のぺよん潤さんの軽快な進行のもと、ステージにはバラエティやものまね番組で人気のコンビ「ラパルフェ」が登場しました。さまざまなキャラクターを演じながら観客とのやり取りも繰り広げ、会場を大いに盛り上げました。

地元芸能のステージでは、八東平成太鼓の迫力ある演奏や八頭町PR隊の舞をはじめ、ほほえみ会、久能寺傘踊り保存会などが出演。郡家中北連も息の合った踊りを披露し、最後には観客からも有志が加わって一緒に踊るなど、会場は大きな盛り上がりを見せました。続いて女性団体有志の会と観客が「八頭町音頭」を一緒に踊り、会場が一体となりました。

会場には焼き鳥やかき氷、焼きそばなどの屋台が並び、子どもたちに人気の光るグッズや駄菓子、バルーンアートのプレゼントにも多くの人が集まりました。

祭りの締めくくりは、八頭町デジタルポイント「やずP」が当たる「きらめき大抽選会」を実施。当選番号が発表されるたびに歓声やどよめきが起こりました。そして最後は音楽花火。1,600発の色とりどりの花火が夜空を彩り、八頭町の夏を華やかに締めくくりました。

